

令和5年度第6回川崎町議会（3月定例会議）一般質問通告一覧表

その1

議員名	件名	要旨
1 手嶋 真由美	1. 災害に強いまちづくりについて	① 本町に避難訓練を含む防災訓練の取り組みと計画は。 ② 各種防災訓練等にVR（仮想現実）を取り入れる考えは。 ③ 地震体験車の活用や防災運動会の開催で、身近に災害時の対応を学ぶ機会を持ってないか。 ④ 住民への防災啓発をどう考えるか。 ⑤ 要配慮者・要支援者の避難支援体制は万全か。
	2. 高齢者・子育て世帯の支援の充実	① 緊急通報装置の利用条件が緩和されたが、必要とする人が申請できる条件に見直しできないか。 ② 本町の認知症罹患患者数。そのうち在宅で生活をしており、要介護認定を受けている人数は。 ③ 認知症損害保険を町として半額補助で検討してもらえないか。 ④ 18歳までの子ども医療費助成の拡充を願うが、入院時だけでも助成できないか。 ⑤ 物価高騰の中、小中学校の給食費の一部を町は補助しているが、今後、無償化にする検討は。
	3. 環境整備について	① 新しいごみ処理場でのごみ収集法は、現行のままか。 ② ペットボトルの回収を隔週にしてほしいとの要望があるが、現行のままか。 ③ 空き家対策について、新たな取り組みはあるか。 ④ 飼い主のいない猫対策、住民の方から何とかしてほしいとの声をいただいた。その後の検討は。

令和5年度第6回川崎町議会（3月定例会議）一般質問通告一覧表

その2

議員名	件名	要旨
2 政時 喜久美	1. 社会教育課の不明金について (教育長)	① 社会教育施設の使用料について <ul style="list-style-type: none"> ・施設使用の申し込みから使用料の受領後の事務の処理に関する事（事務手続き内容） ・社会教育課内で保管されるようになった経緯に関する事（時期はいつからか） ・社会教育課内で保管されていた使用料の総額はいくらあったのか。 ・警察へ盗難届を出した後の捜査の状況はどうなっているのか。（庁内での調査はしているのか）など
	2. 町長交際費について (町長)	① どういう使い道になっているのか説明してほしい。パーティー券問題についても説明してほしい。
3 松岡 久代	1. 道の駅を拠点とする観光の動線を問う	① 道の駅も令和9年に完成見込みと聞いています。観光に対しての町長の基本構想を尋ねる。
	2. 隣組に加入している世帯に対し、町としての応援が必要不可欠ではを問う	① 日々の生活に必要な外灯、ごみ箱、コミュニティが崩壊しつつある。町として「10年先も住み続けたい」ことに対し、現在加入している世帯に目を向ける必要があるのではを尋ねる。
4 櫻井 英夫	1. 道路整備方針について (町長)	① 県道、国道の整備計画の把握と事業執行への要請活動の状況は。田原交差点の改良、路面表示、案内板の修復は。 ② 町道の改良、新設に関し計画は整備されているか。交通安全施設（ガードレール、路面表示など）老朽化箇所が散見されるが、これらの把握と改修は。 ③ 道標を整備して20年程経過。老朽化して機能を果たせなくなっているものがある。更新すべきではないか。

令和5年度第6回川崎町議会（3月定例会議）一般質問通告一覧表

その3

議員名	件名	要旨
<p>4 櫻井 英夫</p>	<p>2. 川崎道の駅のコンセプトについて (町長)</p>	<p>① 防災機能を持つ道の駅とはどんなイメージか。概要は。 ② 岩鼻地区のほうから道の駅への進入道路新設を提案された。防災の観点から検討の余地はないか。道の駅から旧池尻中へのアクセス道路にもなりえるのではないか。</p>
	<p>3. 在校生の少人数化への対応は (教育長)</p>	<p>① 複式学級が顕著にならない限り小学校の統合は視野にないとしているが、 (1) 4小の交流促進事業をもっと推進してはどうか。子ども議会は定着した。次に新しいものを。 (2) 姉妹校締結し外部交流を図ってはどうか。</p>
	<p>4. クラブ活動校外委託への対応と行程は (教育長)</p>	<p>① 中学校統合動機の一つに、少人数で部活が成り立たないことがあった。今後、川中の部活動はどのように変化していくのか。変化で生じる費用負担等はどうなるのか。</p>
<p>5 樋口 秀隆</p>	<p>1. 川崎町に内在する三つの産業廃棄物処分場の行政対応を尋ねる。</p>	<p>① 平成7年に始まった「大ヶ原産廃処分場阻止住民運動」は平成23年に最高裁での完全勝訴にこぎ着くまで15年にわたる歳月を要したが、現状は「広大な太陽光発電施設」となっている。よって、現状では削った山肌がむき出しになり、水災害の懸念も年々増していると考えられる。業者との協議などを進め予防の処置を考えてほしい。 ② 7年ほど前に浮上した大ヶ原の新たな「産廃処分場設置計画」については、行政の施策で「農道条例」が制定され農道の損傷防止、農作業の安全が確保された。しかしながら、「産廃事業の設置」については依然として懸念は残ったままである。川崎町としての行政対応を期待する。</p>

令和5年度第6回川崎町議会（3月定例会議）一般質問通告一覧表

その4

議員名	件名	要旨
5 樋口 秀隆	1. 川崎町に内在する三つの産業廃棄物処分場の行政対応を尋ねる。	③ 以前、公営ごみ焼却場の最終処分場として計画されたことがある東田原の元町有地に再び「産廃処分場」の設置が懸念されている。また、その町有地が民間に売却処分される際にその町有資料が第三者の介在により不適切に使用された経緯があるとの情報があるが、このことについて確認をしたい。
6 寺田 響	1. 給付型奨学金について (町長)	① 給付型奨学金の定員数は9名、一人当たり給付金は初年度で51万円、以降は毎年36万円。毎年申請条件を満たしているが給付を受けない学生が約7名(過去5年平均)います。川崎町の人材育成を向上させるためにも定員数を増やすべきと考えるが町長の考えをお伺いします。
	2. 環境問題について	① 不法投棄・ごみのポイ捨ては、河川敷や山林、雑草が生い茂っているような人目に付きにくい場所や管理が行き届いていない場所がねらわれます。現在ボランティアの皆さんとポイ捨てハザードマップを作成し、毎月計画的に活動していますが、残念ながら不法投棄される量が多くボランティアの活動だけでは対応できない状態となっています(町内一斉清掃の対象外地域)。特にひどい状態になるのは、東田原団地入口から伊加利方面に向かう町境の峠です。隣接する田川市や県と協議し、抑制効果の高い監視カメラの設置や看板の設置とともに、子ども達への環境意識向上のための教育が必要です。今後の本町の環境問題について町長の考えをお伺いいたします。
7 千葉 加代子	1. 交通弱者対策について	① 「地域いきいきお出かけサロン」の今後の展開は。 ② 高齢者の免許自主返納者への特典は。 ③ ふれあいバスの定期券の導入は。

令和5年度第6回川崎町議会（3月定例会議）一般質問通告一覧表

その5

議員名	件名	要旨
7 千葉 加代子	2. 教育現場の問題対応について	① 働き方改革にも取り上げられているが、学校での給食費等の集金を公会計にできないか。 ② 不登校児童生徒のための学びの多様化学校の設置を検討していただきたいが対応は可能か。 ③ 給食費の無償化が進んでいるが本町の考えは。
	3. 災害時の対応について	① 聴覚障がい者のために文字放送での周知は。 ② 電気、水道、ガス等のライフライン（特に水道）の復旧までの対応は。 ③ ペット対策は。
8 川根 節生	1. 防災士資格取得に係る助成制度について	① 防災士は地域防災力強化に貢献すると注目を集めております。自治体による地域防災力向上の取り組みの一つとして防災士の資格取得を奨励し、助成金を交付する自治体が多くみられるようになりました。その数は増加の傾向を示しています。本町においても防災士資格取得への助成の考えはあるのか。
	2. 「おたふくかぜ」ワクチン無料化について	① ウイルス感染症の一つである「おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）」が発症すると耳の下が腫れたり難聴や無菌性髄膜炎など重大な合併症を引き起こすことがあります。予防にはワクチン接種が効果的ですが、希望者が自己負担で受ける「任意接種」のため接種率が低いのが現状です。公費負担で接種ができないか。
	3. 高齢者の運転免許証を自主返納すると受けられる支援制度について	① 福岡県では高齢者の交通事故を防止するため免許証の自主返納を促す取り組みが進んでいます。免許証を自主返納した高齢者に対して県は路線バスの乗車運賃割引、タクシー料金の割引、回数券の交付など、その他さまざまな特典があります。また、自治体によってもさまざまな支援も行われております。田川市郡でもいくつかの自治体が独自の支援を行っております。本町ではどのような支援がなされているのか。